

20031

タブレット端末を用いた PCI オリエンテーションの改善

【目的】当院では先行研究にて、臨床パス用紙を用いた PCI オリエンテーション(以下カミオリ)から、タブレット型端末による PCI オリエンテーション(以下タブオリ)への変更を試みた。その結果治療がイメージし易くなり、看護師・患者の反応は良好であった。しかし、看護師の実施状況は充分ではなかった。その問題点を抽出し改善する事で、患者にとって有意義と考えられるタブオリへの移行を試みた。**【方法】**1. 看護師に対して質問紙調査を行いタブオリの問題点を抽出。2. タブオリを修正。3. 再度質問紙調査を施行。**【結果】**1. タブオリの欠点として、説明時間の長さや使いにくさ、高齢者への不適合が挙げられた。一方で、習熟性や簡便性を理由にカミオリを支持する意見が少なくなかった。2. アニメーションやスライド枚数の削減、スライドショーの工夫等により操作性向上と簡略化に焦点を当てタブオリを修正、更にラミネート加工したパンフレットを手渡して見返せるようにした。3. 使用感や操作簡便化に同意は得られたが、依然として説明に費やす時間への不満は解消されなかった。**【考察】**タブオリは PCI をイメージ化できることで患者の治療に対する不安軽減効果が期待できる。操作の簡便性については解決したが、説明時間に関する問題は解決されておらず、引き続き修正を行いながら、より患者・家族に満足が得られるような関わりができるよう工夫していきたい。